

〔記入例〕 添付様式3-② その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現の計測

添付様式3-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考) 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)		代替指標として用いるか	代替する指標	代替指標となりうる理由	
			基準年度	基準年度	基準年度	基準年度	モニタリング	事後評価				
その他の数値指標1 ○駅の乗降者数	千人/年	△△鉄道口線乗降客数調査を基に、○駅の乗降客数を計測した	1,353	H11	1,324	H16	モニタリング	●	代替指標とする	指標1: 観光入込客数の代替として用いる	○駅の乗降者数増加は、指標1と同様に「交流人口拡大による地域振興」という目標に合致しており、かつ従前値の1.3倍という効果が発現しているため	
							事後評価	●				1,722
							フォローアップ	●				
その他の数値指標2 まちづくりワークショップ参加人数	人/年	交付終了年度のワークショップへの参加人数を、開催時にそれぞれ計測した	-	H11	60	H16	モニタリング	●	代替指標とする	-	-	
							事後評価	●				125
							フォローアップ	●				
その他の数値指標3 ▲▲物産館の地場産品売り上げ	万円/年	▲▲物産館が把握している毎月の売上高を集計した	-	H11	7,000	H16	モニタリング	●	代替指標とする	-	-	
							事後評価	●				20,000
							フォローアップ	●				

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

〔記入例〕 添付様式3-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

添付様式3-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

※本事業の実施に伴い、住民のまちづくりに対する意欲が大きくなり向上し、協議会を中心として行政との協力関係が強化された。

⑧

- ① 指標……………「方法書（1）-2）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現の計測」に記入したすべての指標と単位を転記する。また、方法書作成後に任意に追加した指標についても記述する。
- ② データの計測方法と評価値の求め方……………「方法書（1）-2）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現の計測」に基づき、「時期」、「場所」、「実施主体」、「対象」、「具体手法」等を記入する。また、方法書作成後に検討した指標についても、同様に記述する。なお、評価値の考え方は、「方法書作成の手引き」P.5を参照のこと。
- ③ （参考）計画以前の値（ア）……………都市再生整備計画の作成より以前（概ね5年程度前）の値と、その年度を記入する。（ただし、データがない場合、もしくは入手が困難な場合は、記入しないことも可とする。）
- ④ 従前値（イ）…まちづくり交付金交付期間前に測定した値と、その年度を記入する。
- ⑤ 数値（ウ）
 - 1) モニタリング…モニタリング時に計測した値を記入する。
 - 2) 事後評価……………上記②で記入した求め方による評価値と、確定/見込みの別を記入する。
 - 3) フォローアップ…事後評価時に見込みの値を使用した場合に、フォローアップ時の確定した値（確定値）を記入する。
- ⑥ 代替指標として用いるか……………当該指標を代替指標として用いるかどうか、該当する欄に●を記入する。
- ⑦ 代替する指標・代替指標となりうる理由……………「代替指標とする」に●をつけた場合は、代替する指標名と代替指標となりうる理由を記入する。なお、「その他の数値指標」を代替指標として用いる場合には、当該指標が都市再生整備計画の目標に合致しており、かつ代替する指標の「目標値達成」と同等の意義を有していることに留意が必要である。
- ⑧ 定性的な効果発現状況……………定量的には表現できないが定性的な効果が発現している場合は、その効果を参考として記述することができる。

※「⑥代替指標として用いるか」及び「⑦代替する指標・代替指標となりうる理由」については、合理性及び客観性が必要であり、国への提出前にまちづくり交付金評価委員会等の審議を経ておくことを必須とする。